

「テクノロジーベースの規制改革」の進捗と今後の進め方

1. 「テクノロジーベースの規制改革」の進捗

- アナログ規制見直しの工程表から見えてきた「各規制に応じた活用可能な技術情報の整理・提供が必要」という課題を出発点に、これまで、テクノロジーマップ・技術カタログの整備や、RegTech コミュニティの運営等、「テクノロジーベースの規制改革」を進めてきた。
- こうした取組により、国・地方のアナログ規制見直しは大きく進展。更に、技術実装に向けた好事例も見られ始めるなど、アナログ規制見直しの成果が着実に顕在化している中で、「テクノロジーベースの規制改革」は、所期の目的を概ね達成したと考えられる。

2. 今後の進め方

- 今後は、「規制の見直し」と「技術の進展」の好循環に向けて、デジタル庁として、好事例の横展開等、技術実装のための情報発信を継続していく。その際、デジタル庁、規制所管府省庁、規制対象事業者、技術保有企業が相互にコミュニケーションを図る場として、RegTech コミュニティを活用しつつ、AI 等の新たな技術の進展やそれに伴う規制改革のニーズを継続的に把握する。
- テクノロジーベースの規制改革推進委員会・技術カタログ運用タスクフォースについては、今年度で完結する。

(注) 技術カタログ運用タスクフォースについて、任期期間の終了に伴い、構成員を公表(資料4)。